

平成28年産水稻の収穫量（香川県）

【調査結果の概要】

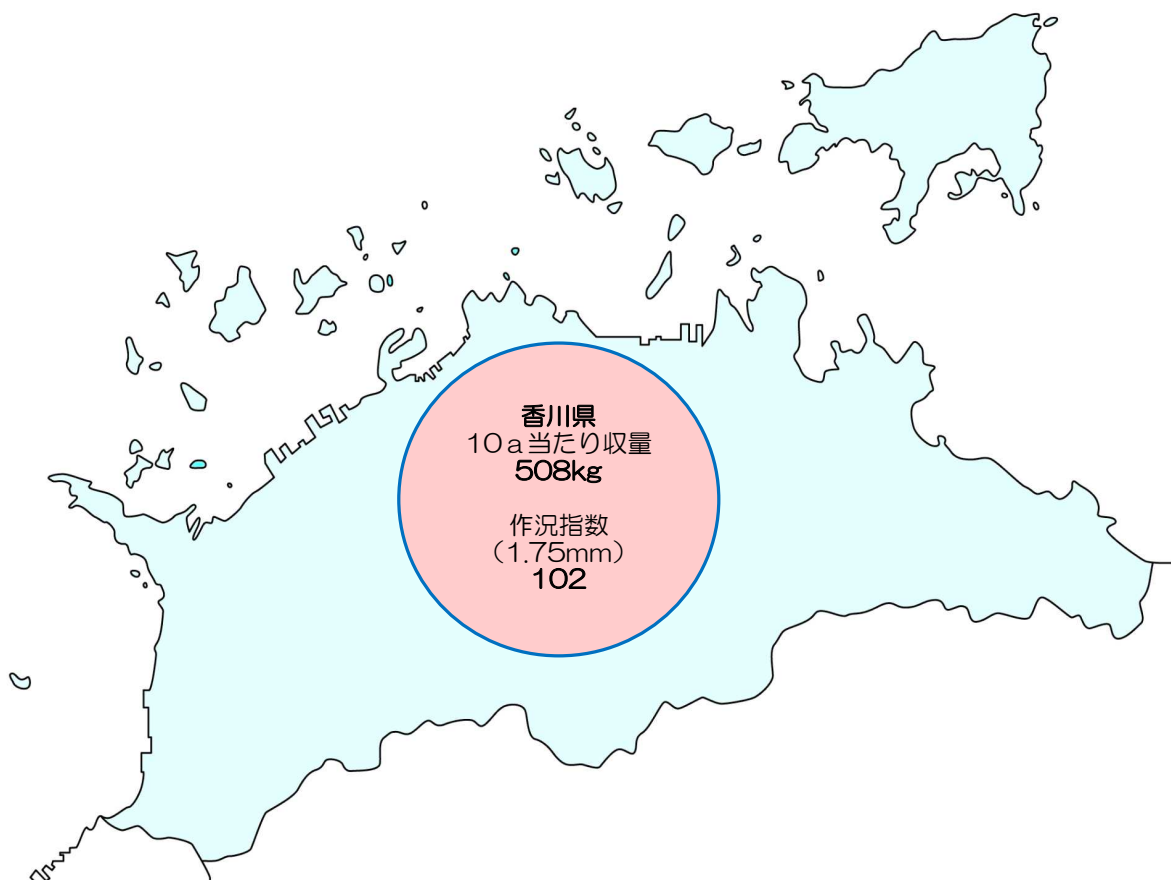
1 香川県における平成28年産水稻の作柄は、9月中旬以降に平年を大幅に下回る寡照となったものの、8月には高温・多照で推移していたことから、登熟が「やや良」となりました。

このため、10a当たり収量は作柄の悪かった前年産に比べ38kg増加し、508kgとなりました。

また、農家等が使用しているふるい目幅（1.75mm）ベースの作況指数は102（やや良）となりました。

2 収穫量（子実用）は6万7,100tとなり、前年産に比べ3,200t（5%）増加しました。また、収穫量（主食用）は6万7,100tとなりました。

図1 香川県の10a当たり収量及び作況指数



【調査結果】

1 作柄概況

穂数、1穂当たりもみ数及び全もみ数は、6月下旬は気温及び日照時間ともに平年を下回ったものの、7月上旬から8月中旬が高温・多照で推移したことから「平年並み」となりました。

登熟は、9月中旬以降が平年を大幅に下回る寡照となったことからやや緩慢となったものの、8月が高温・多照で推移していたことから「やや良」となりました。

以上の結果、香川県の10a当たり収量は508kgとなり、作柄の悪かった前年産に比べ38kg増加しました。

また、農家等が使用しているふるい目幅（四国地域は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した作況指数は102（やや良）となりました。

2 収穫量

収穫量（子実用）は6万7,100tで、作付面積は減少したものの、10a当たり収量が前年産を大きく上回ったことから、前年産に比べ3,200t（5%）増加しました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた主食用の収穫量は6万7,100tで、前年産に比べ3,600t（6%）の増加しました。

3 被害概況

水稻の被害を種類別に見ると、病害が最も大きく（被害総量に占める割合46%）、次いで気象被害（同39%）、虫害（同10%）となりました。

表1 平成28年産水稻の作付面積及び収穫量（香川県）

区分	作付面積（子実用）			10a当たり 収量	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			収穫量（子実用）			参 考	
	実数 ①	前年産との比較			10a当たり 収量 ③	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=③/④	実数 ⑥=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ⑦	収穫量 （主食用） ⑧=⑦×②
		対差	対比	対差					対比			
香 川 県	13,200 ha	△ 400 ha	97 %	508 kg	504 kg	493 kg	102	67,100 t	3,200 t	105 %	13,200 ha	67,100 t

表2 平成28年産水稻の作柄概況

区 分	平 年 比 較			
	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
香 川 県	平年並み	平年並み	平年並み	やや良

表3 被害種類別被害面積及び被害量（香川県）

区 分	被害面積	被害量	
		ha	t
総 数	40,600	5,970	100
うち 気 象 被 害	12,900	2,320	39
風水害	2,210	785	13
干 害	0	0	0
冷 害	-	-	-
日照不足	7,850	1,350	23
高温障害	2,850	184	3
うち 病 害	14,600	2,770	46
いもち病	4,650	870	15
紋枯病	5,450	1,550	26
うち 虫 害	10,400	570	10
ニカメイチュウ	1,450	85	1
ウンカ	1,950	145	2
カメムシ	2,550	135	2
うち そ の 他	2,650	310	5

表4 平成28年産水稻の生育ステージ

区 分	田 植 期				
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較	
				対平年差	対前年差
香 川 県	月 日 4. 25	月 日 6. 14	月 日 6. 28	並み	並み
区 分	出 穂 期				
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較	
				対平年差	対前年差
香 川 県	月 日 7. 18	月 日 8. 20	月 日 9. 1	2日早	4日早
区 分	刈 取 期				
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較	
				対平年差	対前年差
香 川 県	月 日 8. 23	月 日 9. 30	月 日 10. 18	2日早	3日早

表 5 平成28年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（香川県）

区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75mm ～1.80mm	1.80mm ～1.85mm	1.85mm ～1.90mm	1.90mm ～2.00mm	2.00mm 以 上
重量割合(%)	100.0	0.8	2.2	3.2	4.6	26.0	63.2
平均 値	100.0	1.3	2.7	3.7	5.2	25.0	62.1
対 平均 差	0.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6	1.0	1.1

表 6 平成28年産水稻玄米のふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）
（香川県）

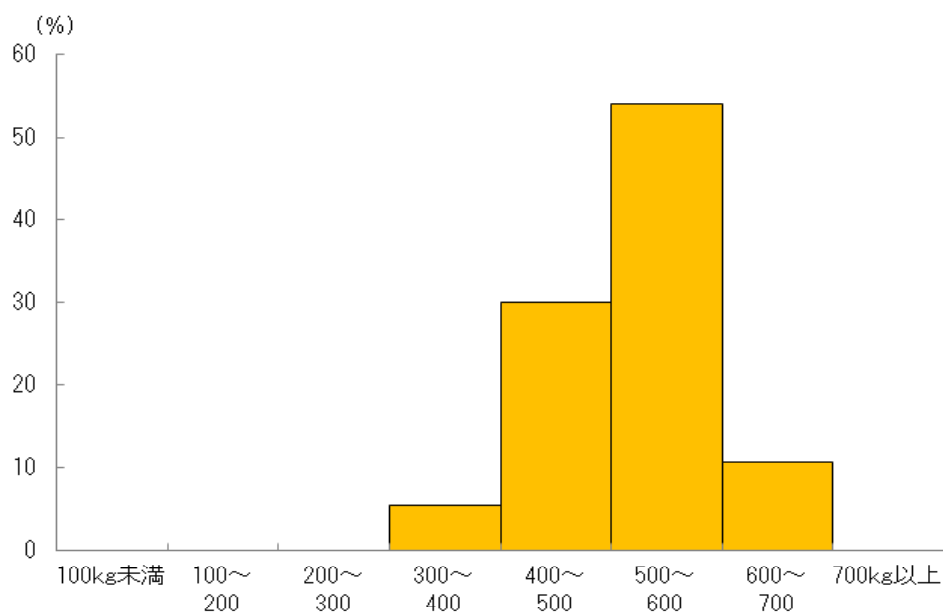
区 分	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
10 a 当たり収量(kg)	508	504	493	477	453	321
収穫量(子実用)(t)	67,100	66,600	65,100	62,900	59,900	42,400

表 7 平成28年産水稻作況標本筆の10 a 当たり玄米重の分布状況（香川県）

単位：%

	計	100kg未満	100～ 200	200～ 300	300～ 400	400～ 500	500～ 600	600～ 700	700kg以上
筆数割合	100.0	—	—	—	5.3	30.0	54.0	10.7	—
前年値	100.0	—	—	2.0	13.3	42.7	35.3	6.7	—
対前年差	0.0	—	—	△ 2.0	△ 8.0	△ 12.7	18.7	4.0	—

図 2 平成28年産水稻作況標本筆の10 a 当たり玄米重の分布状況（香川県）

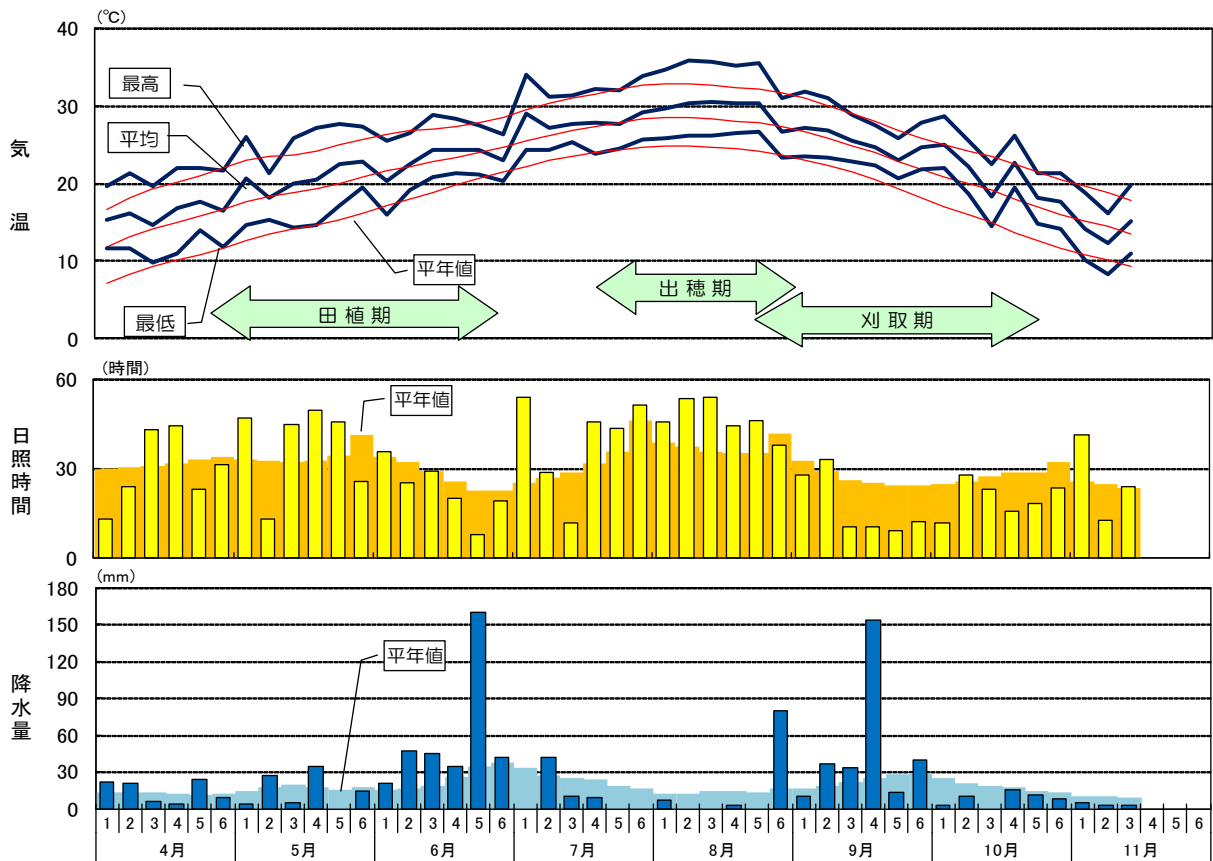


◎ 累年統計表

区 分	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	作 況 数	参 考	
	子 実 用	主 食 用 作 付 面 積				収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t		ha	t
香 川 県 平成18年産	15,300	15,300	469	71,800	94
19	15,000	15,000	494	74,100	99
20	15,200	15,200	511	77,700	102	15,200	77,700
21	15,200	15,200	496	75,400	99	15,200	75,400
22	15,300	15,300	502	76,800	101	15,300	76,800
23	14,800	14,700	483	71,000	97	14,500	70,000
24	14,600	14,500	504	73,100	101	14,400	72,600
25	14,700	14,700	503	73,900	101	14,500	72,900
26	14,500	14,400	468	67,400	94	14,200	66,500
27	14,000	13,600	470	63,900	94	13,500	63,500
28	13,700	13,200	508	67,100	102	13,200	67,100

◎ 半旬別気象図

高松市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「平成28年産水稻の収穫量（中国四国地域）」の補足資料です。調査の概要や注意書きは、「平成28年産水稻の収穫量（中国四国地域）」をご覧ください。

【お問合せ先】

中国四国農政局 香川県拠点 統計チーム
総括統計専門官 酒井 ・ 統計専門官 丸岡
電話：087-831-8153 FAX：087-831-8156